

副理事長 平間正宏 ^(株)平間燃料

今年度、夏まつり委員会の担当副理事長として活動させていただきました。夏まつりは一関青年会議所唯一の継続事業であり、継続事業の中で今年の色をどのように出すのが難しいと点だと思いません。初めての副理事長ということで、どのように委員会に携わり委員長や委員会メンバーの力を引き出すのか、とても難しい立ち位置の役職だと実感いたしました。委員会メンバーや一関JCメンバー、地域の皆様のご協力もあり、無事に今年度も二代目時の太鼓大巡行41年目の歴史を刻めたことに感謝いたします。しかし、副理事長という役職を本年度まっとうできたかという、力不足感を痛感した1年でした。本年度学んだことを活かし次年度も地域に必要とされる青年会議所活動をし、来年度には副理事長をまっとうできたと言えるような1年となるよう邁進いたします。

副理事長 阿部 徹 ^(株)セイコウ 代表取締役

総務広報員会担当副理事長の阿部徹です。2017年度の総務広報員会はすごかった！1月の新年交賀会を大成功におさめ、6月の釜石までの自転車引き継ぎは、圧倒的統率力で1ミリのズルを認めず、見事完走！毎月の「とびら」は欠かさず発行。締め切りを過ぎたメンバーに対しての委員長の愛情はすごかった！（怖かった）見習うことが多く、大変勉強になりました！副委員長のユッタさんも頑張っていたいただきましたが、青少年員会の方が出席率良いかな？？完璧主義の総務広報委員会！この委員会の担当になれたことを誇りに思い、2018年度は理事長として皆さんを巻き込みながら勇住邁進していきます！浅野委員長、御卒業おめでとうございます！

連携推進会議 議長 蜂谷悠介 ^(株)京屋染物店 代表取締役

2013年に入会し4年間、多くの経験を積ませていただきました。そして、たくさんの仲間と共に成長する機会をいただき、メンバーの皆さんには本当に感謝しています。JCを深く知れば知るほど、自分自身ももっと成長しなければならないことを強く感じ、自己研鑽のため自分なりに努力を重ねてきました。地域にとって、会社にとって、家族にとって、子供たちにとって、いい影響を与えられる人間になれているのか。JC卒業後も常に自問自答しながら、ここで学んだことを活かしていきたいと思います。メンバーの皆さん、お世話になりました！そして、これからの一関のため気づきの多い日々をお過ごしください！

連携推進会議 副議長 鈴木陽介 ^(株)平野組 北上営業所所長

今年度は副議長という立場で、どのように活動していくか手探りの部分が多くありました。JCカップの初開催では蜂谷議長のもと、今後の継続事業としての道筋を作ることができたと思います。東北青年フォーラムin奥州では、他地域の青年会議所との交流や出展ブースの手配など、様々な挑戦がありました。特に白河JCとの交流会においては、県外との交流や連携の可能性を感じ、自分たちの事業を新たな視点から考える機会となりました。2018年度は専務理事を勤めさせていただきます。理事長を支え、また事務運営を担い、調整能力が試される立場となります。関係する皆様やメンバーの協力をいただきながら、青年会議所での最後の1年間を思い出深い活動にしたいと思います。

専務理事 佐々木朋和 ^(有)げいび観光センター

一年間、専務を勤めさせていただき、皆様のご協力に心から感謝いたします。理事長が掲げ、最も重視してきた会員拡大も千葉晴一委員長をはじめ、皆様のご協力で目標まであと二人の8名まで積み上げることが出来ました。また、各例会事業も外部からも好評価をいただき、嬉しい限りです。しかし、専務としては、各地ロムの行事や外部団体の事業などへの参加者が限られ、自身の巻き込み力の無さを痛感し、反省しております。是非次年度は今年度の至らない点を他山の石として、JC活動に励んでください。応援しています

監事 佐藤 哲 和酒Diningもんど

2017年度監事の職を務めさせていただきました。監事とは、財務の監査を行う者。しかし、青年会議所の監事の仕事はそれだけではありません。理事会や事業の後の監事講評、メンバーを褒めたり理事長を叱る事ができる職であったりします。私にそれができたのかはわかりませんが、メンバーの皆様が、『ガムシヤラに！』地域の課題に取り組んで活動し、成果をあげたことだけは確かでありました。2018年度へと繋がる1年であったと思います。菅原理事長をはじめとするメンバーの皆さま本当にありがとうございました。誇りある役職を務めさせていただいたことを感謝申し上げます。来年度は、敬愛されるOBになれるよう努力し、皆様の影ながら応援しております。

外部監事 鈴木 哲 鈴木哲社会保険労務士事務所 社会保険労務士

外部監事という役をいただき1年間活動させていただきました。今年度は本当に素晴らしい事業が多かったと思います。その結果、新たなメンバーが8名も加わったことはすごいことだと思います。今後、もっともっと多くの仲間が増えてほしいなと思います。そのためにも、一関青年会議所の活動の良さを伝えていきたいと思っています。来年度はOBとして微力ながら応援していきます。最後に、みんなと一緒に活動することができたことに感謝！ありがとうございました。

青少年育成委員会 委員長 畠山武将 ^(有)幸栄鉄工建設 専務取締役

青少年育成委員会委員長の畠山武将です。今年度の反省と致しましては10月例会本番に向けてストレスからか自然と体重が落ち一時期は－10kgまで落ちたのにもかかわらず例会が終わり安心したためかりバウンドに成功し結果、元の体重＋3kg(現在成長中)となりましたことを報告致します。体重をコントロールできない事も自らの精神力の未熟さゆえのことだと思いここに反省文をしたためます。来年の抱負と致しましては暴飲暴食を控え、早寝早起きを心がけ、精神が肉体をも超越できるように日々鍛錬してまいります。

社会開発委員会 委員長 小山裕貴 ^(株)おやまケアサービス 代表取締役

本年は、「温故知新～歴史の重さを感じ、50年目に向けた第1歩を～」というスローガンのもと8名のメンバーと活動させていただきました。主には、5月例会 市内の各青年団体等の交流事業、8月例会 二代目時の太鼓大巡行を中心とした夏まつり事業を担当させていただきました。皆様のご協力のもと、両事業とも成功に終わることができ、大変感謝しております。私個人と致しましては、家庭の事情があり殆ど活動に参加することができませんでした。そのため、平間副理事長をはじめとした委員会メンバーに、ご迷惑をお掛け致しました。申し訳ありませんでした。次年度は、組織開発実行委員会のメンバーとして会員拡大の一助となるように活動したいと思います。